

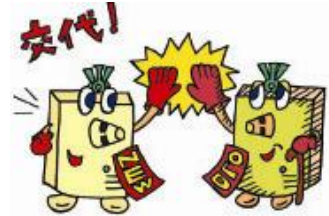


設置後のメンテナンスは必要？

☆☆☆万が一のときに正しく作動するように、定期的なお手入れが必要です。☆☆☆

Point1 電池交換

電池タイプの場合、電池切れかと思ったら、早めに交換しましょう。電池が切れる時期は製品によってさまざまですが、中には電池が切れるころになると、音やランプなどで知らせてくれるものもあり、便利です。



Point2 汚れはきれいに

住宅用火災警報器がよごれてしまったら、中性洗剤などを浸した布で軽くふくようにしましょう。手の届きにくい場所に設置している場合は、一度取り外しても問題はありません。

なお、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用や水洗いは故障の原因となりますので、絶対にしないでください。



ご注意：本体周囲にある煙流入口は煙を感知する重要な部分です。塞いだり、傷をつけたりすると火災警報器の機能を発揮できません。掃除のときは、十分注意してください。

Point3 機能の確認

きちんと作動するかどうか、1か月に一度は確認をしましょう。製品によってはボタンを押したり、ひもを引っ張ると作動試験ができます。

なお、次の場合には作動試験を必ず行ってください。

- | | |
|----------------|------------------|
| ① はじめて取り付けるとき | ④ 取付場所を変更したとき |
| ② 電池を交換したとき | ⑤ 故障や電池切れが疑われるとき |
| ③ 汚れなどの掃除をしたとき | ⑥ 3日以上留守にしたとき |

ご注意：タバコやライターなどの裸火で試験すると、大変危険ですのでおやめください。また、本体に破損、またはひびを生じた場合には正常に機能しないことがあります。その場合は、新しい火災警報器に交換してください。

